

K A W A K A M I D A M 2006
川上ダム通信 12月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL : 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

一層深まる！！名張警察署との連携 名張警察署長ほか幹部の方々が川上ダムを視察



事業説明の様子

川上ダム建設所では、常日頃から事業用地内の適正な管理（ゴミの不法投棄防止）や不当要求撲滅に向け、所轄である名張警察署や青山町駅前交番との連絡を頻繁に行うとともに、警察官による当事務所への定期巡回をお願いするなど、綿密な連携を図りながら事業の推進に努めています。

平成18年12月4日（月）には、名張警察署の渥美署長以下幹部の方々を当事務所に招き事業概要説明と現場視察を行い、現在当事務所が抱える様々な問題について意見交換を行いました。

この中で、地域に密着したダム事業の在り方や住民のみなさんとの会話を大切にする警察官の姿などが話の中心となり、「住民のみなさんの暮らしやすさや生命と財産を守る」という意味では、水資源機構も警察も同じ志を共にする共通の仕事ですね。」という渥美署長の言葉に、私たちも「安全と安心を守る」という言葉の重みが再認識された一日でした。

今後も、川上ダム建設所は所轄警察署との絆をなお一層深め、適正な事業執行に努めるとともに、地域のみなさまの「安全と安心を守る」事業展開を行ってまいります。【副所長 青山太洋】



工事現場の視察

平成19年度予算は今年度比22%増 ～川上ダム建設事業の政府予算案が決定～

川上ダム建設事業の平成19年度予算については、12月24日（日）の臨時閣議で政府予算案が決定されました。決定額は18.47億円（今年度15.1億円、今年度比約22%増額）で、水理調査、環境調査などの経費に加えて、地域の重要な生活道路である「付替県道松阪青山線」の19年度中の概成を目指すこととして工事費を計上しています。

今後とも、「淀川水系河川整備計画」の策定など、法手続きが速やかに行われることを願い、事業進捗が図られるよう地域の期待に応えていきます。【工務課長 北牧正之】

オオサンショウウオ調査・保全検討委員会を実施

川上ダム建設所では、建設事業に伴うオオサンショウウオへの影響をできる限り少なくするために、専門家の先生方の指導・助言を受け、保全等について検討を行う「川上ダムオオサンショウウオ調査・保全検討委員会」を設置しています。

平成18年12月26日(火)に開催した第10回の委員会では、今年2年ぶりに確認された保護池での産卵において、孵化率が低かった状況やオオサンショウウオの繁殖環境の保全に向けた取り組みを説明し、その内容に関して審議していただきました。委員からは、「産卵数および孵化数の差は年変動だけでなく雌個体の状況にもよると考えられる。」「流水及び溶存酸素に起因する可能性もあるが、この1個体のデータで水質と繁殖状況の関係は結論づけられない。」などのご意見がありました。今後とも、このような委員会を十分に活用し、オオサンショウウオの的確な保全に努めていきます。【環境課 古賀勝之】



委員会の様子

安全を ダンプで運ぶ ダム造り

狭い道 急がず飛ばさず 譲り合い

絶対厳守!!! 飲んだら乗らない 家族のために

川上ダム安全協議会で交通安全標語を発表

12月20日(水)、平成18年度第9回川上ダム安全協議会において、交通安全標語の発表を行いました。この標語は、「地域に根ざした地元の一員としての川上ダム建設所」の責任を果たすうえで、飲酒運転防止や交通安全啓発のための取り組みの一環として募集を行ったものです。工事関係者や川上ダム職員から広く募集を行い、52点の応募がありました。選考の結果、左の3作品が選ばれました。選考した標語はバッジやステッカー等に掲載し、川上ダム建設所での交通安全啓発活動で使用させていただきます。【調査設計課 立石浩行】

「安全運転管理推奨像」を次事務所へ引継

12月12日(火)に「安全運転管理推奨像」引継式が若島伊賀南部安全運転管理協議会長、渥美名張警察署長以下の出席のもと、名張警察署で行われました。

この推奨像制度は、伊賀南部安全運転管理協議会と名張警察署が行う交通事故防止活動の取り組みの一環で、所轄管内に所在する各事業所がこの推奨像を引き継ぎ、交通安全自主活動の推進と交通安全に対する啓発を行うものです。

秋の交通安全運動週間から年末の交通安全週間までの3ヶ月間、川上ダム建設所が「安全運転管理推奨事務所」として無事故・無違反でその責任を果たし、

交通安全標語の募集をはじめ、飲酒運転防止や交通安全啓発に取り組んでまいりました。今後も「地域に根ざした地元の一員としての川上ダム建設所」の責任をしっかりと果たしていきます。【総務課 武村剛泰】



引継式の様子

川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線4号橋上部工工事

現在施工中の付替県道松青線4号橋上部工工事について進捗状況をお知らせします。

10月号で紹介しました大阪工場での橋桁の製作はすでに終了し、12月初旬より現地での作業を行っています。

この橋は、下流側で組立てた橋桁を上流に向かって送り出すという「送出し工法」と呼ばれる工法で施工します。12月末現在は、作業ヤード（既設道路）上に桁を送り出すためのレールを敷く作業と橋脚に足場を組立てる作業を行っています。

翌1月末頃には、実際に桁を送り出す作業に取りかかります。その際、現地で工事の概要等を説明会を行う予定ですので、参加を希望される方は川上ダム建設所総務課までご連絡ください。



4号橋上部工の施工状況 (H18.12.15撮影)

【工事課 田中幸志】

第6回

ちよつとオオサンショウウオ！

～大きさのはなし～ (その2)

第4回で紹介しました、川上ダム建設所のオオサンショウウオ保護池で、現在一番大きいオオサンショウウオは体長103cm、体重11kgです。この個体は、保護池に收容した1998年時点では体長73cm、体重2.8kgだったので、8年で体長は1.4倍に、体重は4倍に増えたこととなります。この調子で大きくなれば、もしかしたら、次の成年には日本一になっているかも・・・。(鬼が大笑い?)

もうすぐ成年が終わり、亥年がやって来ます。今年もお世話になりました。みなさま、どうか良いお年をお迎えください。今回もお読みいただき、ありがとうございました。次回は、オオサンショウウオ保護池での孵化についてのお話です。お楽しみに。



日本一を目指す、オオサンショウウオ保護池の主

【環境課長 大村朋広】

建設所紹介⑤ 《第一用地課》

第一用地課長の河田洋弥です。

事務補助をしている今枝香織です。

水没地、予算を担当している川部信夫です。



水没地、地図訂正、埋蔵文化財を担当している山口和宏です。

水没地、事業用地管理を担当している鈴木繁です。

《第⑤話その1 ちかた よんき 千万と四鬼の攻め戦》

創作 『あ お ち か た こ 阿保千方湖物語』

かくして、紀友雄^{きのともお}を総大将とする千方征伐軍が伊賀国の阿保^{あお}の里に向かいました。その数、五万の大軍。危機に気づいた隠形天王^{おんぎやうてんのう}が、「千方どの、計られましたぞ。朝廷内の陰謀で我々が悪者にされた様子。敵の大軍がそこまで近づいております」と急ぎ知らせました。

「なにっ。それはどういうことだ」と詳しく聞き、顔色を変えた千方は、「ともかく無駄な争いは避けねばならぬ」と誤解を解くため使者を走らせました。

しかし、すでに朝廷側は聞く耳を持たず、使者を殺してしまい、さらに阿保のさくら山に火を放つよう紀友雄に命じました。

紀友雄は内心、「このように美しい阿保の里を戦場にするのは、つらいことだ」と思いながらも、総大将として命令を実行し、千方の愛してやまなかったさくら山を無惨な姿にしてしまいました。

「なんという心ないことを。仏の心も、これまでよ」と、さすがの千方も激しく怒り、里を守るために戦を決意しました。 (つづく) [川上ダム建設所編集]

編集部が選ぶ 2006年川上ダム建設所10大ニュース

- ・平成19年度予算 今年度比22%増の18.47億円
- ・用地取得率98%→99%へ
- ・付替道路ルートについて調整開始
- ・第1回伊賀市議会川上ダム・下水道対策特別委員会が川上ダムで開催
- ・伊賀市自治会連合会への事業説明会を実施
- ・農業土木教職員研修等の受入研修を川上ダムで実施
- ・名張警察署との連携・協力の強化
- ・沢田敏男先生、文化勲章記念講演で川上ダムに激励の声
- ・ISO14001取得を目指して運用スタート
- ・『川上ダム通信』が約3000人に読まれ、地元ケーブルTVでも放映



EVENT

「第2回伊賀学検定」受験対策セミナー

3月4日(日)開催の「第2回伊賀学検定」の受験対策として、講師によるセミナーを実施します。出題範囲である、芭蕉・城・祭・文化財・歴史・文学・自然・生活文化・雑学など「伊賀」に関する事柄全般から、例題を取り上げて説明します。

○日時／1月27日(土) 初級：13:00～14:30
中級：15:30～17:00

○場所／上野商工会議所(伊賀市上野丸之内)

○問い合わせ／上野商工会議所 TEL0595-21-0527

編集後記

今年も12月を迎えますが、1年間川上ダム通信を読んでいただきありがとうございました。

12月は川上ダム安全協議会において交通安全標語の発表を行いました。川上ダム建設所では、飲酒運転の撲滅及び安全運転の徹底をはかっていきます。

【広報誌発行事務局】

編集長 恒吉 徹 (川上ダム建設所長)

デスク 上村 信幸 (総務課長)

〃 北牧 正之 (工務課長)

通信記者 武村 剛泰 (総務課)

〃 立石 浩行 (調査設計課)